

群馬大学医学部規程

	平成 16. 4. 1	制定
改正	平成 17. 4. 1	平成 19. 2. 6
	平成 19. 4. 17	平成 20. 4. 1
	平成 21. 4. 1	平成 22. 4. 1
	平成 23. 4. 1	平成 24. 4. 1
	平成 25. 4. 1	平成 26. 4. 1
	平成 27. 4. 1	平成 28. 4. 1
	平成 29. 4. 1	平成 30. 4. 1
	平成 31. 4. 1	令和 2. 4. 1
	令和 3. 4. 1	令和 4. 4. 1
	令和 5. 4. 1	令和 6. 4. 1
	令和 7. 4. 1	令和 8. 4. 1

第1章 総 則

(趣 旨)

第1条 群馬大学医学部（以下「本学部」という。）に関する事項は、群馬大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(学科及び専攻)

第2条 本学部に次の学科を置く。

- (1) 医学科
- (2) 保健学科

2 保健学科に次の専攻を置く。

- (1) 看護学専攻
- (2) 検査技術科学専攻
- (3) 理学療法学専攻
- (4) 作業療法学専攻

3 第1項の学科に学科長を置く。

(目 的)

第3条 医学科は、医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽を続けることができる人材の育成を目的とする。

2 保健学科は、群馬大学の理念等に基づき、人間の尊厳と倫理観を重んじ、多様性を尊重する姿勢を備えた、社会で活躍できる者であって、次の各号に掲げるリーダー人材の育成を目的とする。

- (1) 豊かな人間性、高度な専門知識に加え、他分野との協働を通じてヘルスサイエンス

の発展に貢献する次世代のリーダー

(2) 全人的医療及び多職種連携を重視し、地域社会や国際社会に貢献する人材

(教育目標)

第3条の2 医学科の教育目標を次の各号のとおり定める。

(1) 基本目標

ア 医学を含む自然科学の知識及び医学研究手法と基本的な臨床手技の修得を通して、基礎的な知識に裏打ちされ、職務を遂行できる技能を有する医療人・医学研究者を育成する。

イ プロフェッショナルリズムの実践的学習を通して、豊かな人間性を備え、患者とその家族等及びチームの同僚の価値観や意見を尊重して適切にふるまうことができる医療人・医学研究者を育成する。

ウ 医療の質と安全に関する学習及び多職種連携の実践的学習を通して、医療安全とチーム医療を医療における重要な課題ととらえ、実践及び課題を探究できる医療人・医学研究者を育成する。

(2) 高い専門性と実践力を有する医療人・医学研究者育成に関する目標

ア 地域医療や保健活動など多様な学習の機会を提供し、持続可能な地域医療体制の基盤構築に貢献する医療人・医学研究者を育成する。

イ 国内外での研究実習や臨床実習及び留学生との交流を通して、幅広い視野と旺盛な探求心を持ち、国際的な活動を推進できる医療人・医学研究者を育成する。

ウ 高度で先進的な医療の積極的な推進に取り組む附属病院での診療参加型臨床実習を通して、次世代を担う医療人・医学研究者を育成する。

2 保健学科の教育目標を次の各号のとおり定める。

(1) 基本目標

ア 次世代の保健学分野を牽引する教育者・研究者や指導者となるリーダー人材を育成する。

イ 人間の尊厳と倫理観を重んじ、多様性を尊重する全人的医療を実践できる人材を育成する。

ウ 社会で活躍できる知識、技能、態度を身につけ、課題を発見し解決できる人材を育成する。

エ 医療保健福祉の現場で、多職種連携と医療安全をリードできる人材を育成する。

(2) 高度な実践力を有する保健学の次世代育成に関する目標

ア 先進医療にも対応できる知識と技術を備え、自己開発力と協働力を持つ人材を育成する。

イ グローバルな視野を持ち、国際保健に貢献できる人材を育成する。

ウ 地域のニーズに応え、保健医療の課題を解決できる人材を育成する。

第2章 教育課程及び履修方法

(授業科目及び履修方法)

第4条 教養教育科目及び専門教育科目の履修方法については、別表に定めるところによる。

(履修手続)

第5条 学生は、各学期開始後の指定された期間内に履修しようとする授業科目を、医学部長に届け出なければならない。

2 履修できる単位数の上限は各学期 30 単位とする。ただし、前年度までの単位を優れた成績（令和3年度以降の入学者は通算 GPA4.0 以上、それ以前は通算 GPA3.2 以上）をもって修得した場合は上限を超えて履修を認めることがある。

(単位の計算方法)

第6条 専門教育科目の単位の計算方法は、次の基準による。

- (1) 講義及び演習については、15 時間から 30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験及び実習については、30 時間から 45 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、15 時間から 45 時間の授業をもって 1 単位とする。

第3章 試 験

(試 験)

第7条 学生が試験を受けることができる授業科目は、第5条により届け出たものに限る。ただし、平常の出席状況等により、受験を許可しないことがある。

(成績の評価及び単位の認定)

第8条 授業科目の成績の評価は、学則第38条の規定による試験、論文、レポートその他の適切な方法により学修の成果を評価した上で、当該科目の担当教員が行うものとし、合格者に対しては、当該科目の担当教員の評価に基づき、教授会の議を経て、学部長が単位の認定を行う。

(修得単位)

第9条 学生が既に修得した単位及びその評価は、取り消すことができない。

(追 試 験)

第10条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかった学生は、医師の診断書又は理由書を添えて、担当教員に追試験許可願を提出しなければならない。

2 前項の追試験許可願を提出した学生で、その理由が正当と認められた者には追試験を行う。

(再 試 験)

第11条 各学科における再試験については、次の各号に定めるところによる。

- (1) 医学科における専門教育科目の再試験は、別に定めるところにより許可する。
- (2) 保健学科における専門教育科目の再試験は、担当教員が認めた場合に許可する。

(試験細則)

第12条 試験の実施についての詳細は、別に定める。

第4章 編入学及び再入学

(編入学)

第13条 学則第29条第3項に定める第3年次及び第4項に定める第2年次に編入学を志願する者には、別に定めるところにより選考を行い、教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

(再入学)

第14条 学則第31条に定める再入学を志願する者には、別に定めるところにより、選考を行い、教授会の議を経て、学長が入学を許可することがある。

第5章 特別聴講学生、科目等履修生、研究生、聴講生及び外国人留学生

(特別聴講学生)

第15条 学則第58条に定める特別聴講学生に関しては、別に定める。

(科目等履修生)

第16条 学則第59条に定める科目等履修生に関しては、別に定める。

(研究生)

第17条 学則第60条に定める研究生に関しては、別に定める。

(聴講生)

第18条 学則第61条に定める聴講生に関しては、別に定める。

(外国人留学生)

第19条 学則第62条に定める外国人留学生に関しては、別に定める。

第6章 教務・厚生

(教務委員会)

第20条 本学部に教務委員会を置き、学生の教務、厚生及び補導に関する事項を処理する。なお、各学科における学生の教務、厚生及び補導に関する事項は、各学科会議において処理する。

2 教務委員会に関しては、別に定める。

(入学試験委員会)

第21条 本学部に入學試験委員会を置き、入學試験に関する事項を処理する。なお、各学科における入學試験に関する事項は、各学科会議において処理する。

2 入學試験委員会に関しては、別に定める。

(規程の改廃)

第22条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学部長が行う。

附 則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 医学科の第3年次編入学は、改正後の第13条にかかわらず、平成21年度入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 2 は、平成 21 年度入学者から適用し、平成 20 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の規程は、平成 22 年度入学者から適用し、平成 21 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1 は、平成 23 年度入学者から適用し、平成 22 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1 及び別表 2 は、平成 24 年度入学者から適用し、平成 23 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1（1）教養教育科目は平成 25 年度入学者から適用し、平成 24 年度以前の入学者については、なお従前の例による。別表 1（2）専門教育科目は平成 24 年度入学者から適用し、平成 23 年度入学者以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 改正後の別表 2 は、平成 25 年度入学者から適用し、平成 24 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1（2）専門教育科目は、平成 24 年度入学者から適用し、平成 23 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1（2）専門教育科目は、平成 24 年度入学者から適用し、平成 23 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 2（3）は、平成 28 年度入学者から適用し、平成 27 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 2（3）は、平成 31 年度入学者から適用し、平成 30 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1 は、令和 2 年度入学者（第 2 年次編入学を除く）から適用し、平成 31 年度以前の入学者及び令和 2 年度入学の第 2 年次編入学については、なお従前の例による。
- 3 改正後の別表 2 は、令和 2 年度入学者から適用し、平成 31 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1（2）は、令和 3 年度入学者から適用し、令和 2 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1（2）は、令和 4 年度入学者から適用し、令和 3 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 3 改正後の別表 2（2）から（5）までは、令和 4 年度入学者から適用し、令和 3 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 1（2）は、令和 5 年度入学者から適用し、令和 4 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この改正は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この改正は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表 2 は、令和 8 年度入学者から適用し、令和 7 年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、別表 2（3）専門教育科目（検査技術科学専攻）における「医用電子工学」「医用電子工学実習」及び「生化学検査学Ⅱ」については、令和 7 年度以前の入学者についても適用する。

別表1 医学科（第4条関係）

（表中の◎は必修科目，○は選択必修科目を示す。）

(1) 教養教育科目

一般学生用

科目区分	授業科目	卒業に必要な単位数		履修年次	備 考
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)	2		1年	1年次2単位必修，2年次2単位必修
	学びのリテラシー(2)	2		1年	
	英語	4		1・2年	
	スポーツ・健康	3		1年	
	データ・サイエンス	2		1年	
教養育成科目	人文科学科目群	2以上		1年	選択英語・選択ドイツ語以外の外国語は，同一の教員が担当する授業題目を通年(2単位以上)で履修すること。
	社会科学科目群	2以上			
	自然科学科目群	14			
	健康科学科目群				
	外国語教養科目群	2以上			
	総合科目群				
合 計		27			

(2) 専門教育科目

ア 一般学生用

◎必修, ○選択必修, △選択

学年別標準修得単位科目 授業科目	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計	卒業に必要な 単位数	必修, 選択 必修及び選 択の別	備 考
(専門基礎)										
物理学演習	1						1		◎	高等学校で物理、化学、生物のいずれかを履修していない場合、その科目2単位を履修すること。物理、化学及び生物のすべての科目を履修した者は、大学入学共通テストで選択しなかった科目を履修すること。
化学演習	1						1		◎	
自然科学演習・実験	1						1		◎	
物理学	2						2		○	
化学									○	
生物学									○	
医系の数理科学		1					1		◎	
医系の国語表現(1)	2						2		◎	
医系の国語表現(2)	2						2		◎	
計	9	1					10	10単位		
(人間科学)										
医の倫理学	6						6		◎	
医系の人間学1A	3						3		◎	
医系の人間学1B	3						3		◎	
行動科学		1					1		◎	
医系の人間学2A		3					3		◎	
医系の人間学2B		3					3		◎	
医系の人間学3A			2				2		◎	
医系の人間学3B			1				1		◎	
医系の人間学3C			1				1		◎	
臨床行動科学			1				1		◎	
計	12	7	5				24	24単位		
(生命医学Ⅰ)										
系統発生	2						2		◎	
医学統計学		1					1		◎	
医学情報処理演習		1					1		◎	
動物実験学		1					1		◎	
遺伝学		1					1		◎	
計	2	4					6	6単位		
(生命医学Ⅱ)										
膜生理学		1					1		◎	
生化学		2					2		◎	
分子病態学		2					2		◎	
組織学		2					2		◎	
肉眼解剖学		6					6		◎	
神経解剖学		1					1		◎	
生理学		3					3		◎	
神経科学		1					1		◎	
計		18					18	18単位		
(生命医学Ⅲ)										
免疫学			1				1		◎	
細菌学			2				2		◎	
寄生虫学			1				1		◎	
衛生学			1				1		◎	
ウイルス学			1				1		◎	
医学研究実習			2				2		◎	
公衆衛生学			2				2		◎	
計			10				10	10単位		
(生命医学Ⅳ)										
薬理学			1				1		◎	
病理総論			2				2		◎	
法医学			1				1		◎	
検査学			1				1		◎	
発達と老化			1				1		◎	
主要症候と病態生理			2				2		◎	
計			8				8	8単位		

(臨床医学Ⅰ)										
循環器			1				1		◎	
感染症			1				1		◎	
耳鼻咽喉・口腔顎顔面			1				1		◎	
呼吸器			1				1		◎	
腎臓病学・泌尿器科学			1				1		◎	
麻酔・救急			1				1		◎	
臨床薬理学総論			1				1		◎	
放射線基礎医学			1				1		◎	
計			8				8	8単位		
(臨床医学Ⅱ)										
消化管				1			1		◎	
皮膚・形成外科				1			1		◎	
肝胆膵				1			1		◎	
産科婦人科学・周産期医学				1			1		◎	
血液学・リウマチ膠原病学				1			1		◎	
内分泌代謝・乳腺				1			1		◎	
臨床試験・臨床研究				1			1		◎	
放射線腫瘍学・腫瘍内科学				1			1		◎	
計				8			8	8単位		
(臨床医学Ⅲ)										
脳・神経学				1			1		◎	
整形外科・リハビリテーション				1			1		◎	
小児科・小児外科				1			1		◎	
病理各論				1			1		◎	
画像診断・核医学・IVR				1			1		◎	
精神科・眼科				1			1		◎	
計				6			6	6単位		
(臨床医学講義・演習)										
チームワークトレーニング				2			2		○	
チームスキル演習				1			1		○	
臨床推論 T B L				6			6		◎	
臨床実習入門					6		6		◎	
臨床実習達成演習						8	8		◎	
実践臨床講義						1	1		◎	
地域保健医療論									◎	4～6年次
計				9	6	9	24	24単位		
(臨床医学実習)										
チーム医療実習		2					2		◎	
臨床基本手技実習				1			1		◎	
臨床実習 1					23		23		◎	4～5年次
臨床実習 2						16	16		◎	5～6年次
計		2		1	23	16	42	42単位		
専門教育科目合計	23	32	31	24	29	25	164	164単位		
総計 (教養教育科目 (27単位) + 専門教育科目)								191単位		

イ 編入学生用

学年別標準修得単位科目 授業科目	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	計	卒業に必要な 単位数	必修, 選択 必修及び選 択の別	備 考
(人間科学)									
医の倫理学	6					6		◎	
医系の人間学 1 A	3					3		◎	
行動科学	1					1		◎	
医系の人間学 2 A	3					3		◎	
医系の人間学 2 B	3					3		◎	
医系の人間学 3 A		2				2		◎	
医系の人間学 3 B		1				1		◎	
医系の人間学 3 C		1				1		◎	
臨床行動科学		1				1		◎	
計	16	5				21	21単位		
(生命医学 I)									
医学統計学	1					1		◎	
医学情報処理演習	1					1		◎	
動物実験学	1					1		◎	
遺伝学	1					1		◎	
計	4					4	4単位		
(生命医学 II)									
膜生理学	1					1		◎	
生化学	2					2		◎	
分子病態学	2					2		◎	
組織学	2					2		◎	
肉眼解剖学	6					6		◎	
神経解剖学	1					1		◎	
生理学	3					3		◎	
神経科学	1					1		◎	
計	18					18	18単位		
(生命医学 III)									
免疫学		1				1		◎	
細菌学		2				2		◎	
寄生虫学		1				1		◎	
衛生学		1				1		◎	
ウイルス学		1				1		◎	
医学研究実習		2				2		◎	
公衆衛生学		2				2		◎	
計		10				10	10単位		
(生命医学 IV)									
薬理学		1				1		◎	
病理総論		2				2		◎	
法医学		1				1		◎	
検査学		1				1		◎	
発達と老化		1				1		◎	
主要症候と病態生理		2				2		◎	
計		8				8	8単位		
(臨床医学 I)									
循環器		1				1		◎	
感染症		1				1		◎	
耳鼻咽喉・口腔顎顔面		1				1		◎	
呼吸器		1				1		◎	
腎臓病学・泌尿器科学		1				1		◎	
麻酔・救急		1				1		◎	
臨床薬理学総論		1				1		◎	
放射線基礎医学		1				1		◎	
計		8				8	8単位		

(臨床医学Ⅱ)									
消化管			1			1		◎	
皮膚・形成外科			1			1		◎	
肝胆膵			1			1		◎	
産科婦人科学・周産期医学			1			1		◎	
血液学・リウマチ膠原病学			1			1		◎	
内分泌代謝・乳腺			1			1		◎	
臨床試験・臨床研究			1			1		◎	
放射線腫瘍学・腫瘍内科学			1			1		◎	
計			8			8	8単位		
(臨床医学Ⅲ)									
脳・神経学			1			1		◎	
整形外科・リハビリテーション			1			1		◎	
小児科・小児外科			1			1		◎	
病理各論			1			1		◎	
画像診断・核医学・IVR			1			1		◎	
精神科・眼科			1			1		◎	
計			6			6	6単位		
(臨床医学講義・演習)									
チームワークトレーニング			} 2			} 2		○	
チームスキル演習								○	
臨床推論TBL			1			1		◎	
臨床実習入門			6			6		◎	
臨床実習達成演習				6		6		◎	
実践臨床講義					8	8		◎	
地域保健医療論					1	1		◎	4～6年次
計			9	6	9	24	24単位		
(臨床医学実習)									
チーム医療実習	2					2		◎	
臨床基本手技実習			1			1		◎	
臨床実習1				23		23		◎	4～5年次
臨床実習2					16	16		◎	5～6年次
計	2		1	23	16	42	42単位		
専門教育科目合計	40	31	24	29	25	149	149単位		
総計							149単位		

ウ 一般・編入学生共通

学年別標準修得単位科目	1年次～6年次	計	卒業に必要な単位数	必修, 選択 必修及び選択の別	備考
授業科目					
(臨床医学講義・演習) 県境地域から学ぶ地域医療集中演習	2	2	—	△	

※卒業学部に応じて、授業免除する場合がある。

(3) 総合認定

5年次までの各年次終了時において単位の総合認定を行い、不合格となった学生は、次年次の授業科目を履修することができない。
なお、不合格科目を再履修しなければならない。

別表 2 保健学科（第 4 条関係）

（1）教養教育科目

一般学生用（各専攻共通）

科目区分	授業科目	卒業に必要な 単位数		備考
教養基盤科目 (学士力育成)	学びのリテラシー(1)	2		※ 1 年次 2 単位必修、2 年次 2 単位必修
	学びのリテラシー(2)	2		
	英語【※】	4		
	スポーツ・健康	3		
	データ・サイエンス	2		
教養育成科目	人文科学科目群	2 以上		※ 1 看護学専攻で、保健師免許による養護教諭 2 種免許取得を希望する場合は、社会科学科目群の「日本国憲法」は必修である。 ※ 2 選択英語・選択ドイツ語以外の外国語は、同一の教員が担当する授業題目を通年（2 単位以上）で履修すること。 ※ 3 看護学専攻は、指定する情報系科目（「データサイエンス応用」他）から 2 単位以上履修すること。
	社会科学科目群【※ 1】	2 以上		
	自然科学科目群		12	
	健康科学科目群			
	外国語教養科目群【※ 2】			
	総合科目群【※ 3】	2 以上		
小計		25		

(2) 専門教育科目 (看護学専攻)

ア 一般学生用 (専門基礎・支持的科目)

授業科目	卒業に必要な単位数		授業 数 時間	開講年次・学期・単位数								備考
				1年		2年		3年		4年		
	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
物理学		2	30	2								選択科目の中から2単位以上取得すること。
化学		2	30	2								
生物学		2	30	2								
人体構造・機能学Ⅰ	1		30	1								選択科目の中から3単位以上取得すること。 （選択科目のうち、●の選択科目から1単位以上取得すること。）
人体構造・機能学Ⅱ	1		30		1							
人体構造・機能学演習	1		20		1							
栄養学	2		30				2					
生化学		2	30			2						
医療生命倫理	2		30					2				
医療統計学	2		30		2							
臨床心理学●		1	15			1						
コミュニケーション論Ⅰ	1		15		1							
コミュニケーション論Ⅱ	1		15			1						
チームワーク原論	1		15	1								
基礎医学Ⅰ（免疫学・微生物学）	1		30		1							
基礎医学Ⅱ（病理学）	1		30			1						
基礎医学Ⅲ（薬理学）	1		30			1						
臨床医学総論	1		30			1						
臨床医学各論Ⅰ	1		30				1					
臨床医学各論Ⅱ	1		30				1					
疾病論（母性）	1		15				1					
疾病論（小児）	1		15				1					
疾病論（精神）	1		15				1					
疾病論（感覚器系）	1		15				1					
臨床推論	1		15				1					
全人的医療論	1		15	1								
統合保健医療論●		1	15			1						
リハビリテーション概論●		1	15					1				
老年学●		1	15					1				
地域保健医療推進論●		1	15					※1				
救急医学●		1	15							1		
公衆衛生学	1		30			1						
疫学	1		20					1				
社会福祉論	1		30				1					
健康教育論	1		15			1						
国際病原生物学演習●		1	30			1						
国際医療協力論		1	15								1	
国際保健医療研修※		1	15	1	▶							※1～4年次のいずれの時期でも良い。
国際・地域ボランティア研修※		1	15	1	▶							
チームワークトレーニング	2		45					2				
計	30	5										
小計	35											

イ 一般学生用（専門科目）

授業科目	卒業に必要な単位数		授業時間数	開講年次・学期・単位数								備考
				1年		2年		3年		4年		
	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
看護学原論	1		15	1								選択科目の中から5単位以上修得すること。 なお、他専攻の専門科目を2単位まで算入できる。
生活援助技術Ⅰ	1		20		1							
生活援助技術Ⅱ	1		20		1							
臨床看護技術演習Ⅰ	1		30			1						
臨床看護技術演習Ⅱ	1		20					1				
看護過程演習Ⅰ	1		30			1						
看護過程演習Ⅱ	1		20					1				
ヘルスアセスメント	1		30		1							
看護早期体験実習	1		45	1								
基礎看護学実習	2		90			2						
成人・老年看護学総論Ⅰ	1		15			1						
成人・老年看護学総論Ⅱ	1		15			1						
急性・回復期看護論	1		15				1					
急性・回復期看護学実習	3		135						3			
慢性・終末期看護論	1		15				1					
慢性・終末期看護学実習	3		135						3			
ロングタームケア論	1		15				1					
ロングタームケア演習	1		20					1				
ロングタームケア実習	2		90						2			
心の発達とメンタルヘルス	1		15	1								
精神看護学総論	1		15			1						
精神看護学方法論	1		30					1				
精神看護学実習	2		90						2			
ウィメンズヘルス	1		15			1						
母性看護学総論	1		15				1					
母性看護学方法論	1		30					1				
母性看護学実習	2		90						2			
こどもと家族の健康	1		15			1						
小児看護学総論	1		15			1						
小児看護学方法論	1		30					1				
小児看護学実習	2		90						2			
助産学総論		1	15					*1				*助産師国家試験を受験する場合は必修とする。
助産診断・技術学Ⅰ		2	30							*2		
助産診断・技術学Ⅱ		2	30							*2		
助産診断・技術学Ⅲ		2	30							*2		
助産診断・技術学演習Ⅰ		1	30							*1		
助産診断・技術学演習Ⅱ		2	60							*2		
助産臨床推論演習		1	30							*1		
地域母子保健演習		1	30							*1		
助産管理論		2	30							*2		
助産・助産管理実習		9	405								*9	
地域社会における健康支援	1		15	1								**保健師国家試験を受験する場合は必修とする。
地域・在宅看護学総論	1		15				1					
地域看護学方法論Ⅰ	1		30				1					
地域看護学方法論Ⅱ		1	30				**1					
地域看護学方法論Ⅲ	1		30					1				
地域看護学方法論演習Ⅰ	1		30					1				
地域看護学方法論演習Ⅱ		1	30					**1				

地域看護学方法論演習Ⅲ		1	30							* * 1	
地域看護学方法論演習Ⅳ		1	30							* * 1	
地域看護学方法論演習Ⅴ		1	30								* * 1
保健医療行政論	1		30				1				
地域看護学実習Ⅰ		3	135							* * 3	
地域看護学実習Ⅱ		1	45								* * 1
在宅看護学方法論	1		30					1			
地域・在宅看護学実習	2		90						2		
生活を理解する実習	1		45	1							
生活を理解・支援する実習	1		45			1					
看護学総合実習※ 1	2		90							2	▶
国際看護学	1		20					1			
災害看護学	1		20					1			
看護管理学	1		20					1			
看護教育論	1		15							1	
家族看護論		1	15							1	
看護理論		1	15							1	
リエゾン精神看護		1	15								1
看護国際コミュニケーション		1	15				1				
特別講義※ 2		2	30	2	-----	-----	-----	-----	-----		▶
特別実習※ 2		2	90	2	-----	-----	-----	-----	-----		▶
卒業研究Ⅰ	1		30						1		
卒業研究Ⅱ	1		45							1	
卒業研究Ⅲ	1		45								1
計	60	5									
小計		65									
合計		100									

※ 1 前期または後期に履修する。

※ 2 必要に応じて開講する場合があります。

(2) 専門教育科目（看護学専攻）

ウ 編入学生用

授業科目等の区分		卒業に必要な単位数	備考
教養教育科目	教養基盤科目（学士力育成）	5 単位以上	
	教養育成科目		
専門教育科目	（専門基礎・支持的科目）		*印の科目は、入学時に認定されなかった場合は必ず履修すること。
	チームワーク原論	1	
	チームワークトレーニング	2	
	上記以外の科目		
	（専門科目）		
	国際看護学*	19単位以上	
	災害看護学*		
	看護学総合実習*		
	上記および卒業研究以外の科目		
	卒業研究Ⅰ	1	
	卒業研究Ⅱ	1	
	卒業研究Ⅲ	1	
合計	30単位以上		

教養教育科目については、既修得単位として認定された単位数と合わせて25単位以上、同じく専門教育科目については、合わせて100単位以上、合計125単位以上必要です。

※編入学生は、保健師コース・助産師コースを履修することはできません。

※編入学生が、本学以外で保健師免許を取得し、本学で修得した単位に基づき、養護教諭2種免許を申請する場合は、本学において「日本国憲法」、「スポーツ・健康」、「英語」、「データ・サイエンス」（各科目それぞれ2単位）を修得すること（あるいは入学前に修得した単位が本学において認定されること）が必要となりますので、ご注意ください。

(3) 専門教育科目（検査技術科学専攻）

ア 一般学生用（専門基礎・支持的科目）

授業科目	卒業に必要な単位数		授業時間数	開講年次・学期・単位数								備考
				1年		2年		3年		4年		
	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
物理学		2	30	2								*細胞検査士受験の場合は必修とする。
生物学		2	30	*2								
生命科学	1		15		1							
栄養学	2		30				2					
生化学	2		30			2						物理学・生物学から2単位 以上、他の選択科目の中から3単位以上、合計で5単位以上修得すること。
医療生命倫理		2	30					2				
医療統計学	2		30		2							
臨床心理学		1	15			1						
コミュニケーション論Ⅰ	1		15		1							
チームワーク原論	1		15	1								
基礎医学Ⅲ（薬理学）	1		30			1						
臨床医学総論	1		30			1						
全人の医療論	1		15	1								
統合保健医療論		1	15			1						
老年学	1		15					1				
地域保健医療推進論		1	15					1				
救急医学		1	15							1		
疫学	1		20					1				
社会福祉論		1	30				1					
健康教育論		1	30			1						
国際病原生物学演習		1	30			1						
国際医療協力論		1	15								1	
国際保健医療研修※		1	15	1	→							※1～4年次のいずれの時期でも良い。
国際・地域ボランティア研修※		1	15	1	→							
チームワークトレーニング	2		45					2				
計	16	5										
小計	21											

イ 一般学生用（専門科目）

授業科目	卒業に必要な 単位数		授 業 時 間	開講年次・学期・単位数								備考	
				1年		2年		3年		4年			
	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
生体機能学	2		30	2								選択科目の中から2単位以上修得すること。	
生体機能学実習	1		45			1							
生体構造学	2		30	2									
生体構造学実習	1		45		1								
臨床検査総論	1		30	1									
臨床検査総論実習	1		45	1									
公衆衛生学	1		30			1							
保健行政論	1		15				1						
医用電子工学	2		30				2						
医用電子工学実習	1		45					1					
基礎医学Ⅰ（免疫学）	1		15		1								
基礎医学Ⅰ（微生物学）	1		15		1								
基礎医学Ⅱ（病理学）	2		30			2							
臨床病態学	1		30				1						
病態組織学Ⅰ	2		30				2						
病態組織学実習	1		45			1							
病態組織学Ⅱ	1		15				1						
組織検査学実習Ⅰ	1		45				1						
病態組織細胞学		1	15					*1					*細胞検査士受験の場合は必修とする。
組織検査学実習Ⅱ		1	45							*1			
細胞診断学Ⅰ		2	30					*2					
細胞診断学Ⅱ		2	30							*2			
細胞診断学実習		2	90							*2			
細胞診断学演習		2	30							*2			
臨床細胞診断学実習Ⅰ		2	90							*2			
臨床細胞診断学実習Ⅱ		2	90								*2		
臨床細胞診断学実習Ⅲ		2	90								*2		
血液検査学Ⅰ	2		30			2							
血液検査学Ⅱ	1		15							1			
血液検査学実習	1		30				1						
輸血・移植検査学	2		30				2						
輸血・移植検査学実習	1		30					1					
電子顕微鏡技術学		1	15							*1			
分子生物学	1		15			1							
生化学検査学Ⅰ	1		30		1								
生化学検査学Ⅱ	1		30			1							
生化学検査学実習	1		45					1					
免疫検査学	2		30				2						
免疫検査学実習	1		30					1					
遺伝子工学	1		15			1							
遺伝子検査学	1		15					1					
遺伝子検査学実習	1		30						1				
免疫検査学演習		1	30						1				
細胞培養技術学演習		1	30						*1				
臨床微生物学Ⅰ	2		30				2						
臨床微生物学Ⅱ	2		30					2					
臨床微生物学実習Ⅰ	1		45				1						
臨床微生物学実習Ⅱ	1		45						1				
病原生物学演習	1		30					1					
基礎生体機能学	2		30		2								
基礎生体機能学実習	1		45			1							
臨床生体機能学Ⅰ	1		15				1						

臨床生体機能学Ⅱ	1		15				1				
臨床生体機能学Ⅲ	1		15					1			
臨床生体機能学Ⅳ	1		15					1			
臨床生体機能学Ⅴ	1		15					1			
臨床生体機能学実習	1		45					1			
臨床生体機能学演習	1		30							1	
検査機器総論	1		30		1						
検査管理総論	2		30					2			
医療安全管理学演習	2		30						2		
病院検査学演習Ⅰ	1		30						1		
病院検査学演習Ⅱ	1		30						1		
病院検査学演習Ⅲ	1		30						1		
検査総合管理学実習	1		30						1		
臨地実習前技能習得到達度評価	1		30					1			
臨地実習	7		315						7		
特別講義※		2	30	2	-----	-----	-----	-----	-----	-----	▶
特別実習※		2	90	2	-----	-----	-----	-----	-----	-----	▶
卒業研究	3		135							3	▶
計	77	2									
小計	79										
合計	100										

※必要に応じて開講する場合があります。

(3) 専門教育科目（検査技術科学専攻）

ウ 編入学生用

授業科目等の区分		卒業に必要な単位数	備考
教養教育科目	教養基盤科目（学士力育成）	5 単位以上	
	教養育成科目		
専門教育科目	（専門基礎・支持的科目）		
	チームワーク原論	1	
	チームワークトレーニング	2	
	上記以外の科目		
	（専門科目）	19単位以上	
	卒業研究以外の科目		
	卒業研究	3	
合計		30単位以上	

教養教育科目については、既修得単位として認定された単位数と合わせて25単位以上、同じく専門教育科目については、合わせて100単位以上、合計125単位以上が必要です。

(4) 専門教育科目 (理学療法学専攻)

ア 一般学生用 (専門基礎・支持的科目)

授業科目	卒業に必要な単位数		授業時間	開講年次・学期・単位数								備考
				1年		2年		3年		4年		
	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
物理学	2		30	2								選択科目の中から5単位以上修得すること。 （うち＊印の科目のうち3単位以上必ず修得すること。）
化学		2	30	2								
生物学		2	30	2								
栄養学	2		30				2					
医療生命倫理		2	30					2				
人間工学概論		1	15					1				
医療工学		1	15					1				
医療統計学	2		30		2							
臨床心理学	1		15			1						
コミュニケーション論Ⅰ	1		15		1							
チームワーク原論	1		15	1								
基礎医学Ⅰ（免疫学・微生物学）		1	30		1							
基礎医学Ⅱ（病理学）		1	30			1						
基礎医学Ⅲ（薬理学）	1		30			1						
臨床医学総論	1		30			1						
全人的医療論	1		15	1								
統合保健医療論		＊1	15			1						
老年学		1	15					1				
地域保健医療推進論		＊1	15					1				
救急医学	1		15							1		
公衆衛生学		＊1	30			1						
社会福祉論		＊1	30				1					
健康教育論	1		30			1						
国際病原生物学演習		1	30			1						
国際医療協力論		1	15						1			
国際保健医療研修※		1	15	Ⅰ	-----	-----	-----	-----	-----	-----	▶	※1～4年次のいずれの時期でも良い。
国際・地域ボランティア研修※		1	15	Ⅰ	-----	-----	-----	-----	-----	-----	▶	
チームワークトレーニング	2		45					2				
計	16	5										
小計	21											

イ 一般学生用（専門科目）

授業科目	卒業に必要な単位数		授業時間	開講年次・学期・単位数								備考
				1年		2年		3年		4年		
	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
解剖学Ⅰ	1		30	1								選択科目の中から5単位以上修得すること。 なお、他専攻の専門科目を4単位まで算入できる。
解剖学Ⅱ	1		30	1								
解剖学実習Ⅰ	1		45		1							
解剖学実習Ⅱ	1		45			1						
生理学Ⅰ	2		30	2								
生理学Ⅱ	1		30		1							
生理学実習	1		45			1						
人間発達学	1		30		1							
運動学Ⅰ	1		30			1						
運動学Ⅱ	1		30				1					
運動学実習	1		45				1					
臨床病態学Ⅰ（内科）	2		30				2					
臨床病態学Ⅱ（小児）		1	30				1					
神経内科学Ⅰ	1		30				1					
神経内科学Ⅱ	1		30					1				
整形外科Ⅰ	1		30				1					
整形外科Ⅱ	1		30					1				
精神医学Ⅰ	1		30			1						
精神医学Ⅱ		1	30				1					
機能解剖学		1	15			1						
言語障害治療学		1	15				1					
先端医学研究論		1	15						1			
国際リハビリテーション学		1	15							1		
理学療法学概論	2		30	2								
理学療法管理学	2		30							2		
臨床運動学	1		15					1				
PBL入門	1		30		1							
理学療法研究法入門		1	15					1				
理学療法基礎学Ⅰ	2		30			2						
理学療法基礎学Ⅱ	2		30			2						
生活環境支援学	2		30				2					
生活環境支援学実習	2		90				2					
臨床理学療法学Ⅰ（神経系）	1		15					1				
臨床理学療法学Ⅱ（運動器系）	1		15					1				
臨床理学療法学実習Ⅰ（神経系）	1		45					1				
臨床理学療法学実習Ⅱ（運動器系）	1		45					1				
臨床理学療法学Ⅲ（病態障害学）	2		30					2				
症例基盤型実習Ⅰ（神経系）	2		90						2			
症例基盤型実習Ⅱ（運動器系）	2		90						2			
症例基盤型実習Ⅲ（内部障害）	2		90						2			
症例基盤型実習Ⅳ（地域・在宅）	2		90						2			
急性期理学療法学		1	15							1		
スポーツ・健康管理理学療法学		1	15							1		
理学療法早期体験臨床実習	1		45				1					
基本的臨床技能実習Ⅰ	1		45						1			
基本的臨床技能実習Ⅱ	1		45						1			
応用的臨床技能実習	1		45							1		
理学療法臨床実習	4		180						4			
理学療法総合臨床実習	16		720								16	
理学療法選択臨床実習		2	90								2	
特別講義※		2	30	2	-----	-----	-----	-----	-----	-----	▶	※必要に応じて開講する場合がある。
特別実習※		2	90	2	-----	-----	-----	-----	-----	-----	▶	

卒業研究Ⅰ	1		45						1			
卒業研究Ⅱ	2		90							2		
計	74	5										
小計	79											
合計	100											

(4) 専門教育科目 (理学療法学専攻)

ウ 編入学生用

授業科目等の区分		卒業に必要な単位数	備考
教養教育科目	教養基盤科目 (学士力育成)	5 単位以上	
	教養育成科目		
専門教育科目	(専門基礎・支持的科目)		
	チームワーク原論	1	
	チームワークトレーニング	2	
	上記以外の科目		
	(専門科目)	19単位以上	
	卒業研究以外の科目		
	卒業研究Ⅰ	1	
	卒業研究Ⅱ	2	
合計		30単位以上	

教養教育科目については、既修得単位として認定された単位数と合わせて25単位以上、同じく専門教育科目については、合わせて100単位以上、合計125単位以上必要です。

(5) 専門教育科目 (作業療法学専攻)

ア 一般学生用 (専門基礎・支持的科目)

授業科目	卒業に必要な単位数		授業時間	開講年次・学期・単位数								備考
				1年		2年		3年		4年		
	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
物理学		2	30	2								選択科目の中から4単位以上修得すること。 (うち*印の科目のうち2単位以上必ず修得すること。)
化学		2	30	2								
生物学		2	30	2								
栄養学	2		30				2					
医療生命倫理		2	30					2				
人間工学概論		1	15					1				
医療工学		1	15					1				
医療統計学	2		30		2							
臨床心理学	1		15			1						
コミュニケーション論Ⅰ	1		15		1							
チームワーク原論	1		15	1								
基礎医学Ⅰ（免疫学・微生物学）		1	30		1							
基礎医学Ⅱ（病理学）		1	30			1						
基礎医学Ⅲ（薬理学）	1		30			1						
臨床医学総論	1		30			1						
全人的医療論	1		15	1								
統合保健医療論		*1	15			1						
老年学		1	15					1				
地域保健医療推進論		*1	15					1				
救急医学	1		15							1		
公衆衛生学		1	30			1						
社会福祉論		*1	30				1					
健康教育論	1		30			1						
国際病原生物学演習		1	30			1						
国際医療協力論		1	15						1			
国際保健医療研修※		1	15	1	-----	-----	-----	-----	-----	-----	▶	※1～4年次のいずれの時期でも良い。
国際・地域ボランティア研修※		1	15	1	-----	-----	-----	-----	-----	-----	▶	
チームワークトレーニング	2		45					2				
計	14	4										
小計	18											

イ 一般学生用（専門科目）

授業科目	卒業に必要な単位数		授業時間数	開講年次・学期・単位数								備考
				1年		2年		3年		4年		
	必修	選択		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
解剖学Ⅰ	1		30	1								
解剖学Ⅱ	1		30	1								
解剖学実習Ⅰ	1		45		1							
解剖学実習Ⅱ	1		45			1						
生理学Ⅰ	2		30	2								
生理学Ⅱ	1		30		1							
生理学実習	1		45			1						
人間発達学	1		30		1							
運動学Ⅰ	1		30			1						
運動学Ⅱ	1		30				1					
運動学実習	1		45				1					
臨床病態学Ⅰ（内科）	2		30				2					
臨床病態学Ⅱ（小児）	1		30				1					
神経内科学Ⅰ	1		30				1					
神経内科学Ⅱ	1		30					1				
整形外科Ⅰ	1		30				1					
整形外科Ⅱ	1		30					1				
精神医学Ⅰ	1		30			1						
精神医学Ⅱ	1		30				1					
精神医学Ⅲ	1		30					1				
機能解剖学		1	15			1						
言語障害治療学		1	15				1					
基礎作業療法学Ⅰ（概論）	2		30	2								
基礎作業療法学Ⅱ（作業学・研究法）	2		30		2							
基礎作業療法学実習	1		45			1						
作業療法管理学	2		30							2		
作業療法評価学Ⅰ（基礎・共通領域）	2		30				2					
作業療法評価学Ⅱ（障害領域別）	2		30				2					
作業療法評価学実習	1		45				1					
作業療法治療学Ⅰ（身体障害系）	2		30					2				
作業療法治療学Ⅱ（精神障害系）	2		30					2				
作業療法治療学Ⅲ（老年・高次脳系）	2		30					2				
作業療法治療学Ⅳ（発達障害系）	2		30					2				
作業療法治療学演習Ⅰ（身体障害系）	2		60						2			
作業療法治療学演習Ⅱ（精神・発達系）	2		60						2			
作業療法治療学演習Ⅲ（老年・高次脳系）	2		60						2			
作業療法治療学演習Ⅳ（ADL・生活行為）	2		60					2				
先端医学研究論		1	15						1			
国際リハビリテーション学		1	15							1		
地域リハビリテーションマネジメント学		1	15							1		
地域作業療法学	2		30							2		
地域作業療法学実習（通所・訪問系）	1		45						1			
見学実習	1		45				1					
作業療法総合評価実習	4		180					4				
作業療法総合臨床実習	16		720								16	
臨床技能評価実習	1		45							1		
卒業研究Ⅰ	1		45						1			
卒業研究Ⅱ	2		90							2		
計	78	4										
小計	82											
合計	100											

(5) 専門教育科目（作業療法学専攻）

ウ 編入学生用

授業科目等の区分		卒業に必要な単位数	備考
教養教育科目	教養基盤科目（学士力育成）	5 単位以上	
	教養育成科目		
専門教育科目	（専門基礎・支持的科目）		
	チームワーク原論	1	
	チームワークトレーニング	2	
	上記以外の科目		
	（専門科目）	19単位以上	
	卒業研究以外の科目		
	卒業研究Ⅰ		
	卒業研究Ⅱ		
合計		30単位以上	

教養教育科目については、既修得単位として認定された単位数と合わせて25単位以上、同じく専門教育科目については、合わせて100単位以上、合計125単位以上が必要です。